

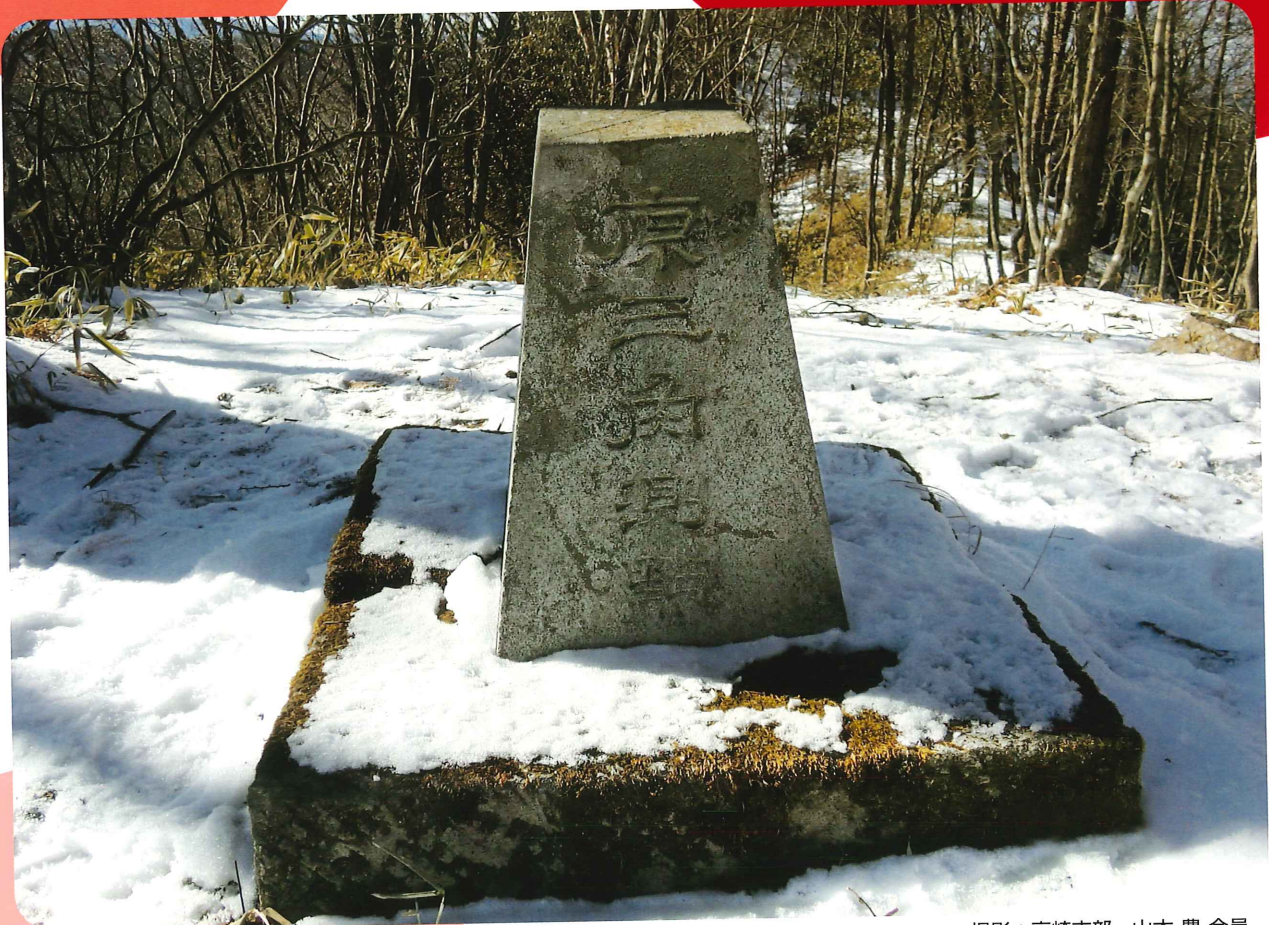
AKAGI

会報

あかぎ

第170号

H26.1.24



冬の原三角測点

撮影：高崎支部 山本 豊 会員



群馬土地家屋調査士会



土地家屋調査士倫理綱領

1. 使 命

不動産に係る権利の明確化を期し、
国民の信頼に応える。

2. 公 正

品位を保持し、公正な立場で
誠実に業務を行う。

3. 研 鑽

専門分野の知識と技術の向上を図る。

も く じ

・新年のご挨拶	前橋地方法務局長 塩澤 隆 様	1
・新年を迎えて	群馬土地家屋調査士会長 堀越義幸	2
・会務報告		3
・会議報告		5
・会員動向・新入会員紹介		8
・報 告		
本会・協会合同役員研修会		9
平成25年度第1回会員研修会		
関東ブロック協議会 担当者会同		11
司・調合同新年賀詞交歓会		
平成25年度土地家屋調査士試験結果		12
支部研修活動・無料登記相談会		13
大規模災害対策基金募金		
・会員の広場		
私の就活時代		14
・お知らせ		
平成25年度第2回会員研修会		15
平成26年度定時総会		

新年のご挨拶



前橋地方法務局長

塩澤 隆

明けましておめでとうございます。

群馬土地家屋調査士会の会員の皆様には、健やかによき新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、貴会並びに会員の皆様には、登記行政に格別なる御支援・御協力を賜っておりますことに対しまして、深く感謝申し上げます。

土地家屋調査士制度は、永い歴史と伝統を有し、この間、表示登記等の適正かつ円滑な処理に寄与するとともに、国民の中に深く浸透し確固たる地位を築かれたことに心から敬意を表する次第であります。

東日本大震災から間もなく3年になりますが、被災地域は、いまだ復旧・復興の途上にあります。貴会においては、地震発生直後から群馬県内に避難された方々に対して電話又は面談により無料相談会を開催するなど被災者支援に御尽力いただき感謝申し上げます。

ところで、登記申請のオンラインの利用促進に関しましては、平成23年8月3日付けで「新たなオンライン利用に関する計画」が取りまとめられ、不動産登記の申請等は重点手続として位置付けられています。当局の登記申請オンライン利用率は、会員の皆様の絶大なる御理解と御協力によって、不動産登記に関する利用率は41.7%程度となっておりますが、政府の新たなオンライン利用に関する計画に基づき、法務省においては、本年度末までにオンライン利用率を71%にするという目標が掲げられており、この目標達成のためには、会員の皆様方の利用が不可欠です。今後ともオンライン申請の利用促進に、特段の御理解と御協力をお願い申し上げます。

次に、法14条地図の整備につきましては、表示登記事務における最重要課題として取り組んでいるところであり、現在、貴会及び群馬県公共嘱託登記土地家屋調査士協会の御協力を得て、高崎市並榎町、常磐町及び歌川町の一部において実施しており、お陰を持ちまして計画どおり作業が進捗しているところであります。

加えて、筆界特定の事件処理に関しては、土地家

屋調査士の皆様に筆界調査委員として、また、筆界特定申請手続の代理人として、大いに活躍していただいております。引き続き、この制度に対する国民の期待と信頼に応えるため、適正迅速な処理に努めてまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

最後に、土地家屋調査士法施行規則第39条の2に規定する法違反調査についてであります。これは、土地家屋調査士法第68条各項の規定（非調査士等の取締り）に違反する事実の有無を調査し、違反する事実に対して必要な措置を行うことで、土地家屋調査士制度の適正な実施を確保し、もって国民の権利の保護を図ることを目的とするものであります。当局においては、昨年9月に本局不動産登記部門、桐生支局及び富岡支局において、調査委嘱を行い、法違反の調査を実施しました。本年も、調査委嘱を行う予定ですので、引き続き当該調査の適正な実施が確保されますよう特段の御理解と御配慮をお願い申し上げます。

年頭に当たり、本年が群馬土地家屋調査士会にとって更なる充実・発展の年となりますよう、また、会員の皆様にとりまして、明るく幸せな年となりますように心から御祈念申し上げまして、新年の挨拶といたします。



新年を迎えて



群馬土地家屋調査士会

会長 堀越義幸

会員の皆様、明けましておめでとうございます。また、日頃より会務にご協力頂きありがとうございます。

去年は、前橋育英高校が夏の高校野球で日本一となり、さらに東京オリンピックの開催が決まるなど、明るい話題も多い年でした。また、政権交代とこれに続くアベノミクスの影響もあってか景気が好転してきているとの報道も多数流れました。今年こそ本格的な景気回復となるよう、大いに期待したいところです。

ところで、少子高齢化、人口減少時代を迎え、私たち土地家屋調査士をとりまく環境は留まることなく変化を続けています。

登記事件数は長期の不況の影響もあり減少傾向にあります。全国的には平成22年度で底打ちをし、平成23年以降は微増傾向に転じたようですが、人口減少時代である以上、今後大きく数字が上向くことは期待できません。量に期待できない以上、我々の業務も質的に変化をせざるを得ない時代に突入しています。

平成18年に導入された筆界特定制度は5年以上経過し、事件数は着実に推移しています。土地家屋調査士が代理人となる比率も高くなり、また難しい案件が増えています。筆界調査委員については、法務局から土地家屋調査士会に対し、大幅な増員要請がきています。

境界問題相談センターについては、昨年6月に三重県に設置され、これで全国50のすべての単位会に設置されたこととなります。センターの名称は各々異なっていますが、各地で筆界特定制度との連携が始まっています。

法務局による「地図作成作業」も継続して行われており、土地家屋調査士がその能力を生かせる業務として、定着しつつあります。全国的には、土地家屋調査士法人が数箇所の地図作成作業を受託したり、既存の公共嘱託登記土地家屋調査士協会が他県の地図作成作業を受託したりする事例が生じています。

「地図作成」については、国土調査法第19条5項の活用の検討が始まっています。これは旧土地台帳附属地図が備え付けられた市街地で、土地家屋調査士が業務を行った場合に、一定の手続を踏むことで、その成果を不動産登記法第14条の地図として備え付けることができるというものです。国土交通省による補助金制度も設けられています。会員の皆様には適宜情報提供したいと思いますので、ぜひ活用願います。

公共嘱託登記については、群馬県公共嘱託土地家屋調査士協会が昨年公益法人として認定を受けました。また、太田地域に続いて高崎地域にも公共嘱託土地家屋調査士協会が新設されています。土地家屋調査士としての、公共嘱託登記への取り組み方についても再度見直す時期にきているのかも知れません。ところで、筆界とそれ以外の境界がわかる唯一の専門家である土地家屋調査士は、公共用財産の管理などにも積極的に関わるべきです。また、少子高齢化が進む中、個人財産の管理が充分できない事例も増えています。我々の知見や経験を生かせる舞台はまだ多数あると思われます。会員の皆様の知恵を集結し、質的变化を成し遂げましょう。

測量技術については、日進月歩で進化しています。GPS測量はGNSS測量と変わり、さらに天頂衛星(QZSS)を利用した測位技術も間もなく実用化されるようです。携帯電話・スマホやタブレットパソコンにもGPSの受信機能が搭載されている時代です。オープンデータの考えのもと、官公署が所有する地理情報を公開するという動きもあります。GIS(地理情報システム)を土地家屋調査士の業務にどのように活用するのか、検討する必要がありそうです。

測量方法が変化しても、どこを測点とするのかという判断業務は機械化できません。また、図面などを見る際には、作成された当時の測量技術や法制度の理解も不可欠です。ここで土地家屋調査士法第25条が重要になってきます。

登記手続きについては、オンライン申請への対応が引き続き肝要となります。特に今年はパソコンのOSであるウィンドウズXPが4月にはサポート終了となります。単に申請手続きのみならず、CADソフトの対応の問題など事務所の設備環境なども見直す必要があるかもしれません。また、土地家屋調査士の電子証明書もICカード型からファイル形式への変

更が予定されています。これは商業登記電子証明書や司法書士電子証明書などと同じ形式であり、カードリーダー等は不要となります。

不動産登記規則93条「調査報告書」の改正や「調査・測量実施要領」の改訂も議論されていますが、日調連も新体制となったこともあり、具体的スケジュールは明らかではありません。動きがあり次第、会員の皆様にお伝えしたいと思います。

会館建設については、色々と物件を検討していますが、まだ具体的な内容をお話できる段階になっていません。会館については、今後の環境変化への対応の拠点、そして研修の拠点となる施設と考えていますので、できるだけ早く対処したいと思います。

4月には消費税増税が予定されています。制度の変わり目というのは事故が多くなります。会員の皆様におかれましては適正な業務を心掛けてください。そして適正な報酬を頂くようにしましょう。

最後になりましたが、平成26年が会員の皆様にとってより良い一年となるよう、ご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



会務報告

(平成25年10月25日～平成26年1月24日)

月	日	用 務	開催場所	出席者
10	27	関ヶ原 親睦ゴルフ茨城大会前夜祭	ホテルグランド 東雲	堀越会長他2名
	28	関ヶ原 親睦ゴルフ茨城大会	茨城ゴルフ倶楽部	参加者8名
		利根・沼田一日合同行政相談所	沼田市保健福祉センター	阿部沼田支部長
11	1	関ヶ原 第5回ADR研修会・担当者会同(1泊)	新潟市「ホテルオークラ新潟」	豊岡副センター長他2名
	2	地籍問題研究会 第8回定例研究会	桐蔭横浜大学	堀越会長
	7	第8回常任理事会	調査士会	堀越会長他9名
		センター 受付面談	調査士会	相談員2名
	9	本会・協会合同役員研修会	高崎ビューホテル	出席者45名
	15	第2回支部長会議	調査士会	堀越会長他18名
		第6回理事会	調査士会	堀越会長他18名
		第3回総務部会	調査士会	萩原常任理事他3名
21	法テラス群馬地方協議会	前橋テルサ	吉原センター長	
22	第2回監査会	調査士会	監事3名他	

(4)

月	日	用 務	開催場所	出席者	
11	24	関ﾌﾟ ﾞ 管内政連会長との打合せ会(1泊)	甲府市「談露館」	堀越会長、齋藤副会長	
	27	関ﾌﾟ ﾞ 総務担当者会同(1泊)	東京会	萩原常任理事	
		関ﾌﾟ ﾞ 業務・社会事業担当者会同(1泊)	東京会	蟻川常任理事	
		関ﾌﾟ ﾞ 研修担当者会同(1泊)	東京会	堀越会長、戸所常任理事	
		関ﾌﾟ ﾞ 広報担当者会同(1泊)	東京会	小井土常任理事	
		センター 第5回運営小委員会	調査士会	豊岡副センター長他4名	
		センター 第4回運営委員会	調査士会	豊岡副センター長他7名 (弁護士3名含む)	
12	4	センター 受付面談	調査士会	相談員2名	
	6	第9回常任理事会	調査士会	堀越会長他9名	
		第4回総務部会	調査士会	萩原常任理事他3名	
		第1回名誉会長・顧問・相談役会議	調査士会	井上名誉会長他25名	
	9	関ﾌﾟ ﾞ 第3回正副会長会議	千葉会	堀越会長	
		関ﾌﾟ ﾞ 中間監査会	千葉会	堀越会長	
	13	第1回会員研修会	J Aビル	出席者162名	
		高崎支部小井土努会員ご尊父様告別式参列	高崎メモリアルホール	堀越会長	
14	吾妻支部佐藤優会員ご母堂様告別式参列	ぐんま想賓館	齋藤副会長		
16	第1回情報技術研究委員会	調査士会	齋藤委員長他3名		
20	土地家屋調査士試験合格証交付式	法務局	堀越会長、加賀谷事務局長		
平成26年	1	7	新年挨拶回り	法務局他	堀越会長他4名
		上毛新聞社新年交歓会	マーキュリーホテル	堀越会長	
		高崎支部表野真弘会員ご尊父様告別式参列	プリエッセアストぐんま	齋藤副会長	
		会員業務執行について	調査士会	堀越会長他3名	
9		東京会國吉正和会長ご尊父様通夜参列	東京都「正燈寺」	堀越会長	
15		平成25年度第2回全国会長会議(1泊)	連合会	堀越会長	
		連合会新年賀詞交歓会	東京ドームホテル	堀越会長	
		行政書士会新年賀詞交歓会	前橋商工会議所	佐藤副会長	
		センター 受付面談	調査士会	相談員2名	
16		測量協会新年賀詞交歓会	アニバーサリーコート ラシーネ	柳澤副会長	
17		税理士会新春祝賀会	前橋商工会議所	吉井常任理事	
		東京法務局へ新年の挨拶回り	東京法務局	堀越会長	
21		東京会 新春交礼会	東京ドームホテル	堀越会長	
22		センター 第6回運営小委員会	調査士会	吉原センター長他6名	
		センター 第5回運営委員会	調査士会	豊岡副センター長他10名 (弁護士3名含む)	
24		第10回常任理事会	調査士会	堀越会長他9名	
		司・調合同新年賀詞交歓会	群馬ロイヤルホテル	出席者110名	
	登録証交付式(前橋支部 齊藤聡太)	調査士会	堀越会長他2名		

会議報告

(平成25年10月25日～平成26年1月24日)

会議名	開催日時・会議内容等
〔本会〕	
第8回常任理事会	平成25年11月7日(木) 13:30～ 調査士会 議 題 (1)役員研修会の事前打合せについて (2)支部長・理事会開催(11月15日)に伴う対応について (3)その他 出席者 堀越会長、佐藤・齋藤・柳澤各副会長、萩原・吉井・蟻川・戸所・小井土各常任理事、表野副部長
第2回支部長会議	平成25年11月15日(金) 13:30～ 調査士会 議 題 (1)筆界調査委員候補者の推薦について (2)所在不明者の対応について (3)その他 出席者 堀越会長、佐藤・齋藤・柳澤各副会長、萩原・吉井・蟻川・戸所・小井土各常任理事、表野副部長、(前橋)渋川・(伊勢崎)高木・(桐生)松嶋・(太田)霜田・(富岡)中村・(沼田)阿部・(館林)長谷川各支部長(高崎)松下副支部長
第6回理事会	平成25年11月15日(金) 15:00～ 調査士会 議 題 (1)平成25年度第1回会員研修会について (2)退会会員の未納会費について (3)その他 出席者 堀越会長、佐藤・齋藤・柳澤各副会長、萩原・吉井・蟻川・戸所・小井土各常任理事、表野副部長、金澤・深澤・北村・前原・須藤森下・齋藤・並木各理事、鈴木監事
第3回総務部会	平成25年11月15日(金) 15:00～ 調査士会 議 題 (1)会員研修会(懲戒事例)の対応について (2)その他 出席者 佐藤副会長、萩原常任理事、表野副部長、金澤理事
相談センター 第5回運営小委員会	平成25年11月27日(水) 15:00～ 調査士会 議 題 (1)相談・調停案件の検討について (2)ADR11の報告について (3)その他 出席者 豊岡副センター長、中村・矢口・大河原・山口各運営委員
相談センター 第4回運営委員会	平成25年11月27日(水) 17:00～ 調査士会 議 題 (1)相談・調停案件の検討について (2)ADR11の報告について (3)その他 出席者〔弁護士〕湯澤副センター長、天田・栗原各運営委員 〔調査士〕豊岡副センター長、中村・大河原・山口各運営委員 中村・矢口・大河原・戸所・山口各運営委員
第9回常任理事会	平成25年12月6日(金) 10:00～ 調査士会 議 題 (1)第1回会員研修会の事前打合せについて (2)今後の事業執行について (3)その他 出席者 堀越会長、佐藤・齋藤・柳澤各副会長、萩原・吉井・蟻川・戸所・小井土各常任理事、表野副部長

(6)

会議名	開催日時・会議内容等
第4回総務部会	平成25年12月6(金) 15:00～ 調査士会
	議 題 (1)会員研修会での説明内容(懲戒事例)の対応について検討 (2)その他
	出席者 佐藤副会長、萩原常任理事、表野副部長、金澤理事
第1回 名誉会長・顧問・相談役等会議及び 本会・協会合同常任理事会	平成25年12月6日(金) 15:30～ 調査士会
	議 題 (1)今年度の事業執行について (2)その他
	出席者 [本会] 井上・横田・小保方・渡辺各名誉会長、生方顧問、真下・吉原 阿形・矢口各相談役、堀越会長、佐藤・齋藤・柳澤各副会長 萩原・吉井・蟻川・戸所・小井土各常任理事、表野副部長 [協会] 齋藤相談役、黒澤理事長、小野寺・小池各副理事長 須田・小須田・岡本各常任理事
第1回情報技術研究委員会	平成25年12月16日(月) 15:00～ 調査士会
	議 題 (1)ホームページの検討について (2)その他
	出席者 齋藤委員長、柳澤副委員長、武井委員、堀越会長
相談センター 第6回運営小委員会	平成26年1月22日(水) 13:30～ 調査士会
	議 題 (1)研修会(3月4日開催)について (2)相談・調停案件の検討について (3)その他
	出席者 吉原センター長、豊岡副センター長、中村・矢口・大河原・戸所 山口各運営委員
相談センター 第5回運営委員会	平成26年1月22日(水) 17:00～ 調査士会
	議 題 (1)研修会(3月4日開催)について (2)相談・調停案件の検討について (3)その他
	出席者 [弁護士] 湯澤副センター長、天田・栗原各運営委員 [調査士] 吉原センター長、豊岡副センター長 中村・矢口・大河原・戸所・山口各運営委員
第10回常任理事会	平成26年1月24日(金) 13:30～ 調査士会
	議 題 (1)第2回会員研修会について (2)ホームページの更新について (3)その他
	出席者 堀越会長、佐藤・齋藤・柳澤各副会長、萩原・吉井・蟻川・戸所・ 小井土各常任理事、表野副部長
〔日調連〕	
第2回全国会長会議	平成26年1月15日(水)～16日(木) 13:00～ 連合会
	議 題 (1)連合会会務報告 (2)連合会会からの説明事項 (3)平成26年度における事業方針 (4)平成26年度の事業計画について
	出席者 堀越会長

会議名	開催日時・会議内容等
〔関ブロ〕	
第5回 ADR11研修会及び担当者会同	平成25年11月1日(金)～2日(土) 14:00～ 新潟県「ホテルクラ新潟」 研修会(基調講演)「調停について」 担当者会同 議題に伴う意見交換会 出席者 豊岡副センター長、中村・山口各運営委員
関ブロ内 政治連盟会長との打合せ	平成25年11月24日(日)～25日(月) 14:00～ 山梨県「ホテル談露館」 協議事項 (1)各会の活動状況について (2)単位会と政治連盟のあり方について (2)その他 出席者〔本会〕堀越会長 〔政連〕齊藤幹事長
総務担当者会同	平成25年11月27日(水)～28日(木) 14:00～ 東京会 議 題 (1)役員及び会の組織の現状と今後 (2)会務の執行と役員の役割 (3)総会や研修会などの会員の出席状況と対策 (4)入会者等の事務所調査等、入会時のチェック体制について 出席者 萩原常任理事
業務・社会事業担当者会同	平成25年11月27日(水)～28日(木) 14:00～ 東京会 議 題 (1)規則第72条第2項の全筆求積について (2)登記所の事務処理の遅れについて (3)土業として生き残る成長戦略(交渉力・文書力・プレゼン・営業経営) (4)パラメーター変換した街区基準点(測地成果2011)の検証、現地とのズレについて (5)隣接地所有者が登記簿上の住所に居ない、不明の場合 (6)基準点の測量研修について (7)事前測量、筆界確認を報酬体系にどう位置づけるか 出席者 蟻川常任理事
研修担当者会同	平成25年11月27日(水)～28日(木) 14:00～ 東京会 議 題 (1)各会の研修項目 (2)有料研修の実施状況 (3)研修会の開催規模(県下全員対象、支部別、ブロック別) (4)CPDポイントの取扱いについて 出席者 堀越会長、戸所常任理事
広報担当者会同	平成25年11月27日(水)～28日(木) 14:00～ 東京会 議 題 (1)広報部の現状と役割 (2)年間事業計画の実情と予算 (3)外部広報と内部広報の利用状況 (4)調査士の受験者数の減少に対するPR (5)相談会の活用(調査士の日・法務局合同・司法書士合同・他業種との合同) (6)日調連とのコラボ 出席者 小井土常任理事

会議名	開催日時・会議内容等
第3回正副会長会議	平成25年12月9日(月) 14:00～ 千葉会
	議 題(1)平成25年度事業経過について (2)平成26年度事業計画の概要について
	出席者 堀越会長
【その他】	
平成25年度 法テラス群馬地方協議会	平成25年11月21日(木) 13:30～ 前橋テルサ
	講演会 「司法ソーシャルワーク」 意見交換会
	出席者 吉原センター長
四県連絡協議会	平成25年10月20日(日)～21日(月) 14:00～ 伊香保「ホテル天坊」
	協議事項(1)隣地所有者が登記記録記載の住所に不存在の場合の対応 (2)会費納入の保障金と比例会費について (3)災害協定について (4)会員の帰属意識の高揚について (5)報酬額指導について (6)研修会参加率の向上について (7)外部広報について (8)各種会議の運営方法及び所要時間について (9)比例会費の徴収方法及び使途について (10)会員に対する福利厚生予算及び種類について (11)有料研修の実施状況について (12)官民立会いの状況について
	出席者 堀越会長、佐藤・齋藤・柳澤各副会長、萩原・吉井・蟻川・戸所・小井土各常任理事、表野副部長

会員動向

(平成25年10月25日～平成26年1月24日まで)

入 会 齊 藤 聡 太 (前 橋)

退 会 大 川 正 義 (吾 妻)
都 丸 悦 夫 (伊勢崎)
外 丸 昭 三 (渋 川)
茂 木 茂 (富 岡)

現在会員数 339名

新入会員紹介



さい とう そう た
齊 藤 聡 太

(前橋支部)

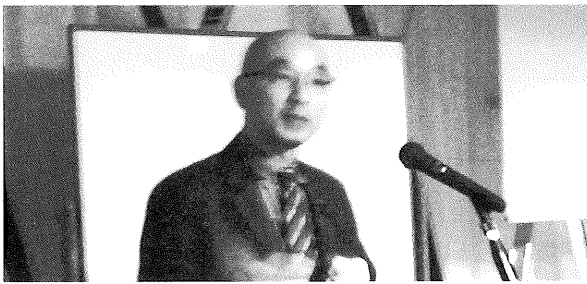
平成26年1月20日登録
登録番号 第1022号
会員番号 865

報告

■ 本会・協会合同役員研修会 ■

日 時：平成 25 年11月9日(土) 午後2時～5時
 場 所：高崎ビューホテル
 対象者：群馬土地家屋調査士会役員、公嘱協会役員
 研修内容及び講師等

- ①業務情報の公開・公共嘱託登記業務の今後について
 講師：日調連業務部長 児玉勝平 様



土地家屋調査士の将来像について、有意義な研修をしていただきました。
 会員研修会の講師として改めて、御願ひしたいと思います。

〔研修部より〕



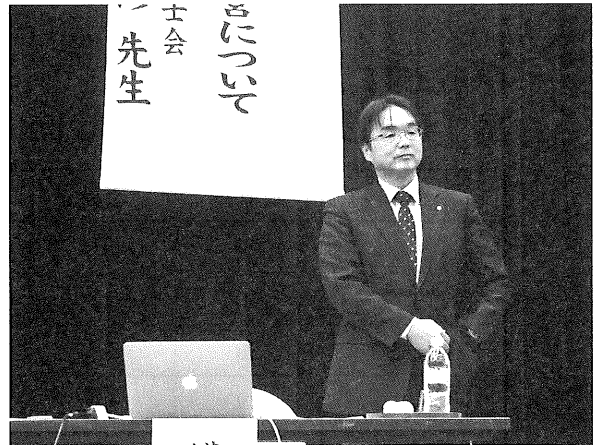
■ 平成25年度第1回会員研修会 ■

日 時：平成 25 年12月13日(金)
 午後1時30分～5時
 会 場：J Aビル 大ホール
 対 象 者：群馬土地家屋調査士会会員、補助者
 研修内容及び講師等

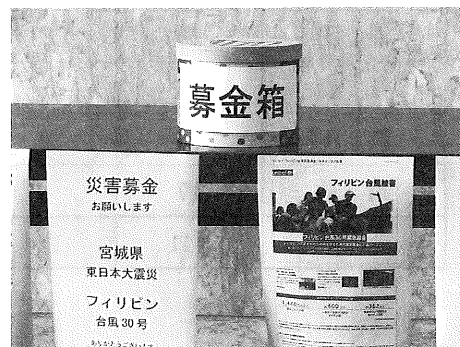
- ①土地家屋調査士報酬と事務所経営について
 講師：宮城県土地家屋調査士会会長 鈴木 修 様
- ②懲戒処分事例について
 担当：佐藤副会長、萩原総務部長
- ③本会からの連絡事項 担当：柳澤副会長

鈴木先生には、土地家屋調査士の報酬のあり方と事務所経営について有意義なアドバイスをいただきました。

懲戒事例については、本会として、全会員に法令順守を指導していきたいと考えております。
 〔研修部より〕



〔講師：宮城会 鈴木修会長〕



〔皆様のご協力により金30,000円の募金が集まりました。〕



〔佐藤副会長〕



〔萩原総務部長〕



〔柳澤副会長〕

平成25年度 第1回会員研修会出欠席状況（結果）

平成25年12月16日作成

支部名	会員数	出席	欠席	出席率	補助者	合計
前橋	69	31	20	44.9%	3	
伊勢崎	40	12	16	30.0%	0	
桐生	30	17	7	56.7%	1	
太田	29	14	8	48.3%	0	
高崎	85	43	28	50.6%	2	
富岡	19	9	7	47.4%	0	
沼田	20	13	3	65.0%	1	
吾妻	16	5	7	31.3%	1	
渋川	16	6	6	37.5%	0	
館林	17	4	6	23.5%	0	
合計	341	154	108	45.2%	8	162名

■ 関東ブロック協議会 担当者会同 ■

日 時：平成25年11月27日、28日
 場 所：東京土地家屋調査士会
 出席者：総務担当者会同 萩原総務部長
 業務・社会事業担当者会同 蟻川業務部長
 研修担当者会同 戸所研修部長
 広報担当者会同 小井土広報部長
 議 題：7ページ「会議報告」参照

今回初めて、広報部長として参加させていただきましたが、地域差や今までの各会の慣習等によって、考え方、対応の仕方も様々で、歴任の役員の方々のご苦勞を痛感し、今後の群馬会にも役立てたい有意義な研修となりました。

〔記：小井土広報部長〕



■ 司・調合同新年賀詞交歓会 ■

平成26年1月24日(金)、前橋市『群馬ロイヤルホテル』において、群馬司法書士会との共催により新年賀詞交歓会が行われ、多くのご来賓の方々にご出席をいただき、盛会に開催することが出来ました。
 [出席者：110名]

司・調合同新年賀詞交歓会次第

司会：司法書士会

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 祝 辞
 - ① 群馬県知事 大澤正明 様
 - ② 衆議院議員
 - ③ 参議院議員
 - ④ 元参議院副議長 角田義一 様
 - ⑤ 前 橋 市 長 山本 龍 様
 - ⑥ 群馬県議会議員
- 4 来賓紹介
- 5 祝電披露
- 6 乾 杯
(祝宴)
- 7 〆 め
- 8 閉 会



〔主催者挨拶〕

■平成25年度土地家屋調査士試験の最終結果■

土地家屋調査士法（昭和25年法律第228号）第6条第1項の規定による平成25年度土地家屋調査士試験の合格者が発表されました。同試験の結果の概要は、下記のとおりです。

なお、平成25年度土地家屋調査士試験合格者の「受験地・受験番号・氏名」は、平成26年1月10日付け官報に掲載されております。

記

試験日	筆記試験（8月25日）、口述試験（11月21日）
出願者数（A）	6,017名
受験者数（B）	4,700名（午前の部の試験を免除された者であって午後の部を受験した者並びに午前の部及び午後の部の双方を受験した者の数をいう。）
合格者数（B/A）	412名（男390名・94.7% 女22名・5.3%）
筆記試験合格点	午前の部の試験を受験した者 午前の部の試験 満点100点中70.0点以上 かつ 午後の部の試験 満点100点中71.5点以上 午前の部の試験を免除された者 午後の部の試験 満点100点中71.5点以上

生年別合格者数

生年	人数	生年	人数	生年	人数	生年	人数
平成2年	3	昭和53年	22	昭和41年	4	昭和29年	9
平成1年	2	52年	16	40年	9	28年	2
昭和63年	6	51年	14	39年	5	26年	1
62年	7	50年	26	38年	5	22年	1
61年	6	49年	17	37年	9	21年	1
60年	16	48年	26	36年	6	20年	1
59年	14	47年	18	35年	5	19年	1
58年	16	46年	17	34年	5		
57年	18	45年	6	33年	6		
56年	16	44年	14	32年	4		
55年	14	43年	8	31年	3		
54年	24	42年	7	30年	2	合計	412

受験地別合格者数

受験地	人数
東京	175
大阪	63
名古屋	59
広島	18
福岡	42
那覇	8
仙台	21
札幌	10
高松	16
合計	412

※年齢はH25.12.13現在

平均年齢	39.02歳	合格者数	
最低年齢	23歳 3名	平成22年度	471名
最高年齢	69歳 1名	平成23年度	390名
		平成24年度	418名

※前橋地方法務局管内の合格者は8名

無料登記相談会

支部名	開催日	開催時間	開催場所	相談実績
伊勢崎	11月9日(土)	10:00～16:00	J A 佐波伊勢崎本所	土地家屋調査士関係 6件
沼田	9月25日(水)	13:00～16:00	利根沼田文化会館	土地家屋調査士関係 2件
	11月20日(水)	13:00～16:00	みなかみ町中央公民館	土地家屋調査士関係 0件

支部研修活動

支部名	実施日時	場 所	研 修 項 目	出席者数
(合同) 太田館林	8月30日(金) 16:00～17:00	太田ナウリゾートホテル	調査士報酬についてのアンケート実施 及び課題検証	26名
				9名
沼田	11月16日(土) 9:00～13:00	沼田公園内	測量実務研修	14名

■平成25年度 大規模災害対策基金募金■

皆様のご協力により、今年度も次表のとおり募金が集まりました。平成25年12月27日付け、金264,000円を連合会へ送金いたしましたのでご報告いたします。ありがとうございました。

支部名	会 員 数	金額(円)
前 橋	69	35,000
伊 勢 崎	40	40,000
桐 生	30	30,000
太 田	29	29,000
高 崎	85	40,000
富 岡	19	20,000
沼 田	20	20,000
吾 妻	17	17,000
渋 川	16	16,000
館 林	17	17,000
合 計	341	264,000

※会員数は平成25年10月1日現在

会員の広場

■私の就活時代■

高崎支部 三倉明子

唐突ですが、学生のころは自分が士業で食べていくとは夢にも思っていませんでした。勉強が嫌いで、絵を描いたり音楽を聴いたり奏でたりすることが好きでしたので、進学先も大学短大ではなく専門学校を選びました。デザインを専攻したので就職先はそれを生かせるところと思い探しました。当時は、すでにバブルは弾けておりましたが、売り手市場で新卒就職率はまだまだよかった頃ですが、デザインなどの特異分野では実力世界というか、業界自体が転職するのがステイタスみたいなのところがあり、新卒とベテランがしのぎを削るという一種特有な雰囲気は常にありました。企業側も、フレッシュで今後の発想に期待できる新卒を採用するか、即戦力でガンガンいけるステップアップを望んでいる経験者を取るべきか、悩みに悩んで決めたりするわけです。とにかく、私としてはそんな世界に身を置きたかったわけで、当然その中で実力を発揮するつもりでおりました。きっと鼻持ちならない自信過剰な新卒だったんだろうな…と、今振り返ると苦笑いせずにはいられません。少しでもコネがあったら利用した方がいいと言われても全くそんなことはどこ吹く風で、コネなど使わず実力で勝ち取ってこそ！とがむしゃらに就職活動に臨んだものです。

当時、自宅から都内の学校まで毎日電車通学をしていました。専門学校は大学と違って課題も多いし、授業も高校生みたいにパンパンに詰め込んで空き時間も無ければグループでこなす課題などは、それぞれが遠方から通っていたりして、どこかに集まって作品を制作する必要があったりしても、そんな場所がなかなかなくて。グループ全体の結束力があればいいのですが、何となく遊びの延長みたいな感じでやっていると課題の制作や提出が間に合わず、容赦なく切り捨てられていきました。(だいたい就職するのが嫌とか勉強しないでいいと思って専門学校に入ってきた子たちだけで固められたグループは、そんな感じ。)幸い私たちのグループは、商業高校卒業後7年ほど社会人で働いた経験者が1名、法政大学卒業1名、農大短期大学卒業1名、高卒新卒2名が通常メンバーのちょっと変わった面白いグループで、その時は意識していませんでしたが、お互い物凄く刺激し合っていたのだらうと。少なくとも私には刺激的な毎日でした。そんな中で、実力で将来を勝ち取ってやる…みたいな気持ちになっていたのだ

と思います。

しかし、現実には厳しく、業界全体が残業徹夜、当たり前という時代で、まず都内在住でないと箸にも棒にもかからない感じでした。私の場合、就職試験を受けられる会社自体が極端に少なく、思いを馳せるばかりで事前の調査不足も重なり、かなり苦い経験をしましたが、何とかデザイン関係の仕事にありつき、楽しい日々を送る事が出来ました。

結婚や出産を機に、その状況の中で少しでも自分を生かせる仕事を模索するうちに、数年前に土地家屋調査士に辿り着いたというのが正直なところでした。

最近、息子の大学の寮が取り壊されることになり、新しい入居先となる物件を探す毎日を送っていて、ふと二十歳前後の自分を思い出しました。他愛ない会話の中にも刺激がいっぱい詰まっていた、気持ちだけは満ち足りていた学生時代を振り返ると、息子にもそんな刺激だらけの学生生活をぜひ謳歌してほしいと願ってしまいます。その先にどんな人生が待っているのか、本当に予想もつきませんが(笑)。



お知らせ

■平成25年度第2回会員研修会■

- 日 時：平成26年2月26日(水)
午後1時30分～午後5時
- 会 場：JAビル 大ホール
- 研修項目：①筆界特定登記管から見た筆界特定制度の現状と課題
②調査士から見た筆界特定手続代理の実務
③本会からの連絡

■平成26年度定時総会■

- 開催日 平成26年5月23日(金)
- 場 所 群馬ロイヤルホテル

発行所

〒371-0847 前橋市大友町1-6-6

群馬土地家屋調査士会

TEL 027-253-2880

FAX 027-253-0163

編集 広 報 部

印刷 モリタ印刷工業株式会社

TEL 027-253-2222(代)

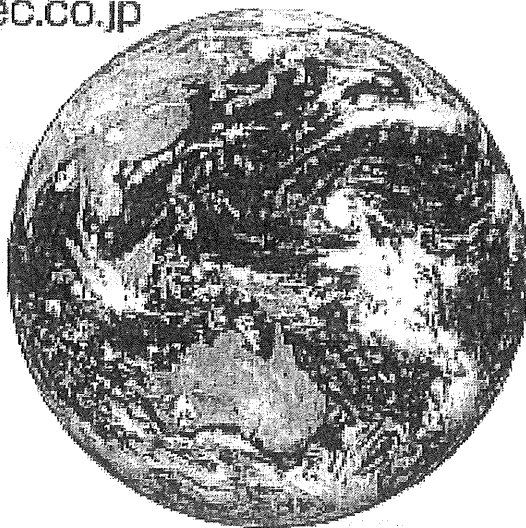
快適な地球環境と豊かな文化を創る

未来へのソリューション



<http://www.sokitec.co.jp>

まなざしの先へ...



GPS・トータルステーション
TS地形測量システム



トータルシステムのコンサルタント
株式会社 **ソッキテック**

〒371-0055 前橋市荒牧町738-1
TEL 027-235-1177 FAX 027-235-1180
URL <http://www.sokitec.co.jp>